

	<p>6 (水) 大掃除</p> <p>19 (土) PTA 総会 アルバム用写真撮影</p> <p>30 (水) 立会演説会 インターハイ地区予選</p>	<p>2 (水) 第1回志望校調査</p> <p>3 (木) 第1回全統マーク①</p> <p>18 (金) ~22 (火) 中間テスト</p> <p>21 (月) 第1回進路調整会議 (中間考査中) ~13年度入試結果報告会を兼ねる</p>	<p>[学習と部活動の両立]</p> <p>クラブをやっている生徒はインターハイにむけて全力投球せよ。部活動も第一線を退く日が近い。これまでの努力の成果を十分に発揮して欲しい。</p>	<p>[授業第一]</p> <p>部活動に力を入れて取り組む一方で、学習にはしっかりと目を向けよう。“勉強はクラブを引退してから”では引退した後の気持ちの切り替えがうまくいかない。そのためにはまずは「授業集中」だ。</p> <p>とくにクラブをやっている者は授業を第一に考え、短い時間で効率的に学力アップするように意識しよう。</p> <p>英数国は7月までにある程度の力をつけよう。</p>	<p>・ 授業第一</p> <p>→授業を第一に考え、受験態勢のペースメーカーにする。授業が入試に直結していることを、よく理解させる。</p> <p>→クラブに目が向いているのを意識しつつ、クラブ引退後にスタートをきれいに準備をさせておく。</p> <p>→合格のためのゴールデンウィーク作戦指示。連休の過ごし方の大切さについて言及。</p> <p>・ 上位者対策</p> <p>→難関大に可能性を有する生徒個々に対して、この時期的確な指示を与えて意識向上を図る。</p> <p>・ 大学入試問題分析</p> <p>→各教科で大学入試問題を研究し、傾向をつかむことによって授業や課外での確な指導ができるようにする。</p> <p>・ インターハイ後の対策</p> <p>→各教科とも、いよいよ生徒を本気にさせるための具体的な学習方法を指示。「学力をつけることが進路実現のための必要条件」という当然のことも受け入れさせる指導を行い、ひたすら勉強するように導いていく</p>
<p>第1回進調会議 (5月中旬=中間考査中)</p> <p>→新旧3年担任の意見交換後、新3年部で今後一年間の指導方針を明確化する。学年一致した指導態勢がとれるよう、第1回進調会議で話し合う。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 3年担任団と進路指導部との顔合わせ ② この1年間の三年生への指導方針の決定 ③ 新担任の進調会議への慣れ ④ 数名程度取り上げ、学年団・進路指導部からのアドバイス ⑤ 14期生の入試結果検討 ⑥ 今春の入試の全体像を把握。14期生のとりくみを紹介し、成功したこと、失敗したことを生かす。 ⑦ 模試の分析 ⑧ 第1回マーク模試の結果を分析し、現段階での生徒の学力を把握。この学年の学力を分析。 		<p>第2回面談 (5月下旬~6月上旬)</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 第1回進路調整会議 (中間考査中) や全統マーク (5月初旬) の結果をうけて、各生徒の課題や対策を生徒といっしょに考える。 ② <u>学習が遅れている教科</u>、模試のデータから弱いとされる教科を中心に学習させる。焦りを生じさせないようにじっくりとりくませる。 ③ 7月の保護者会にむけての聞き取り ④ (連休後) 連休ボケ断ち切れ。 ⑤ クラブ引退の決定した生徒は受験生にスイッチを切り替えよ。 			

8月	LIVE UP		<p>課外授業</p> <p>13（日）第2回全統マーク模試③</p>	<p>【己との戦いに勝つ】</p> <p>生活のペースを乱しやすい時期。自分で生活のリズムを作り、規則正しい生活を送るために自己管理に努めよう。すべて君たちの気持ちしだい。食事や睡眠をきちんと取り、適度なスポーツで健康状態を維持していこう。「充実していた夏」と後で振りかえられるように。ファイト。</p>	<p>【本格的受験勉強＝己との戦いに勝つ】</p> <p>暑い時期に突入。たくましい精神力でここを乗り切れ。夏期課外でたがいに切磋琢磨し、みんなで高めあおう。</p> <p>受験勉強の折り返しの月。夏休みまでは、基礎学力の養成などの目標設定で学習できる。しかし9月以降になると、「残された時間」での有効な学習法が必要になってくる。</p> <p>今は基礎学力の完成期。問題演習はもちろん必要だが、入試直前にこなすような実戦問題はまだまだやらない。基本問題をそつなく解答できる力を養うべきだ。実践力完成は入試直前でいい。あせるな。</p> <p>部活動で学習が遅れている人にとってこの夏休みは挽回のチャンス。ここで一気にみんなに追いついて、ペースを上げていこう。</p> <p>やるべきことの多さに圧倒され、思い通りに実行できない。どれだけ時間を確保し、どれだけ質の高い学習が個人できるかがカギ。単語などの断片的な知識習得ばかりでなく、じっくりと深く考えて思考力を高めていくことを忘れるな。オープン模試は、同じ志望大学をもった者同士の戦い。積極的に受験して、自分の力をためそう。</p>	<p>・ 課外授業</p> <p>→課外授業の受講とともに、登校学習をしていくことをすすめる。希望者受講であるが、出欠状況を把握し、生徒が安易な方向に流れないように仕向ける。</p> <p>→学習時間を確保させることに徹する。<u>今までで一番勉強したと思わせて終了</u>することを最大の目的。</p> <p>・ 質問／生活状況把握</p> <p>→先生は生徒の近くで接し、質問を受ける。生活状況を把握する。「気にしているんだ」という姿勢をとることによって、お互いの人間関係をつくっていく。課外の予習が不十分であったり、未消化になる生徒も出てくる。ぜひ精神的なバックアップを。</p> <p>・ 志望校別オープン模試</p> <p>→今までなかった模試のため、生徒もしり込みしがち。同じ志望大をもった者同士の戦い。チャレンジすることの重要性を説く。上位者には8月から11月にかけて行われる難関大オープンには積極的に挑戦するように指導する。各大学が行う学部学科説明会（オープンキャンパス）への参加も勧める。</p>
		<p>第4回面談（8月中）</p> <p>→生徒がダレる8月中旬 or 全統終了後がのぞましい。課外などで出校してきている生徒をつかまえ面談。</p> <p>①精神的な激励（ダレたり、めげたり、落ち込んだりするケースが多い）</p> <p>②計画通り進んでいるか、確認</p> <p>◎登校学習してこない生徒が心配</p>				